九州大:	学学術情報リ	ポジトリ	
Kyushu	University	Institutional	Repository

## [05-05]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/1468009

出版情報:九州大学大型計算機センター広報.5(5),1972-10-16.九州大学大型計算機センターバージョン:

イーション 権利関係:

## 有明工業高等専門学校連絡所 木 村 剛 三

情報化時代の波は出来たばかりの工業高等専門学校にも遠慮なく押し寄せ、"バス"に乗り遅れないようにという機運が盛り上ったのを潮に、センターにお願いして今年の7月、学校が休みになってからフォートランの利用者講習会を開いた。炎天下、遠路はるばる御足労を煩わした研究開発部の石田、山岸両嬢の熱心な御指導はもとより、センターの絶大な御援助のお蔭で、成功裡に3日間の講習会を終了することが出来た。が好事魔多しのたとえ、ふっとよぎった不吉な予感は忽ち現実のものとなってこの随想を書く破目になってしまった。生来、作文の類は苦手中の苦手、とても気の利いたことは書ける当てもないので、高専の現状を紹介して責を塞ぐこととする。

- 高専における情報処理の教育が積極的に推進されるようになったのは44年頃からであろうか。それ までは各校でばらばらに行なわれていたのが、文部省の肝煎りで数学、応用数学の情報処理を取り入 れたカリキュラム試案と、教材(フォートランの例題集)が作成されたのを皮切りに、現在は機械工 学科の教材が作成されつつある。それと並行して各種、各級の講習会、研究集会が頻繁に行なわれ、 各校は競って情報処理教育を取り上げるようになって来た。と云っても勿論、楽々と事が運んでいる 訳ではない。第一は人を確保することであるが、現在の教官定員の申から担当の教官を賄うことは容 易ではなく、多くの学校が非常勤講師に頼っている。 4 学科、学生定員 800名、教官数59名の本校で も、電気工学科のハードも含めて3人の非常勤講師をお願いしている。第二に、最も苦心しているの は演習をどのようにするかと云うことである。まず、顔の利く近在の大学にこっそりカードを持って 行くのや、非常勤講師が企業から来られているときは、その企業の計算機を使わせて貰ったり、計算 機を持っている農業協同組合に目をつけたり、そのような伝手が一つもないところでは仕方がないの で民間の計算センターで"学割り"で計算演習をしている等種々様々である。本校とても例外ではな く、機械工学科と工業化学科は、地元の三井三池製作所と東芝の御好意で、製作所内にある東芝の計 算センターの TOSBAC-5400 で演習を実施している。 電気工学科だけは、昨年、データー処理装置 として入ったミニコンの OKITAC 4300 を使用しているが JIS 3000 レベルで充分とは云えない。こ のような状況の下で、当然学校に計算機の設置が要請される訳であるが、国立の高専では44年度に2 校、45年度はなく、46年度 5 校、47年度は 8 校に予算がつき、九州では久留米高専と佐世保高専が実 現した。ここで国立高専の計算機の大学のそれと異る点を挙げると、大学のは学術研究が目的である のに対して、高専の場合は学生の演習が目的であること。、大学のは殆んどがレンタルと思われるが、 高事のは買い取りで、その額は周辺機器を含め一切合切で 3,200万円であることである。また、これ に伴う定員は1人も認められていない。この枠のなかで各校思い思いのシステムを揃えるのであるが、 どう値切ってみても能力に限界があるのは明らかで混みいった計算は無理であろう。それ故、仮に本 校に計算機が導入されたとしても大型計算機センターの役割りは些かも減少することはない。現在、 本連絡所は、責任者兼指導員1名、利用者人口(=課題登録数)8名の小じんまりしたものであるが、 利用は増える一方であり、大型計算機センターの一層の拡充強化が望まれる所以である。

ついでにメーカーとセンターに要望を一つ。最近のセンターの様子ではどうもフォートランに重点がゆきすぎているような気がする。メーカーのマニュアルにしてもアルゴールのはフォートランのに較べて見劣りがする。一応、必要事項は書いてあるのだろうが例文が少ない。私のように語学が不得手の者は文法をみたゞけではどうにもなるものでもなく、例文を真似してやっとステートメントが書けるのである。また、システムからのエラーメッセージも貧弱であって何かと云えば、AL 020 Y ▼ MAIN DIAGRAMMER ▼ DE KAISEKI HUNO NA (KUGIRI KIGO) GA KITA. で片付けられる傾向がある。それと、新しく開発される SSL は皆フォートランである。ユーザーが造られるときは、好みの言語で書かれるのは止むを得ないものとしても、センターの方で時を移さずアルゴールにも翻訳して戴く訳にはいかないものだろうか。

47.8.20.